２──１	第４２回　神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 実　施　要　領

１．目 的：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づける.

また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。
あわせて情報発信としての校内放送活動の発展をはかる。

２．主催・主管

【アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会
主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会　校内放送委員会
（神奈川県高等学校文化連盟 放送･情報専門部）
後援：神奈川県高等学校文化連盟

３．日時

２００７年１１月１８日（日）

- ・役員校　控室集合　８：３０（会場準備8:40～9:00）
- ・委員校　控室集合　８：３０（会場準備8:40～9:00）
- ・審査員　控室集合　９：００
- ・受付　９：００～　９：３０
- （・総文祭部門受付　９：００～　９：４０　）
- ・作品提出　９：２０～１０：００
- ・各会場審査基準打合わせ　９：５０～１０：００
- ・審査開始　１０：００～１６：００
- ・閉会式　１６：００～１７：００

４．会場　：　神奈川県立藤沢工科高等学校（**上履き必要**）

５．参加資格

２００７年１０月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学し、校内放送に携わっている放送部・委員会の生徒であること。
ただし、参加できるのは１、２年生とし、審査員説明会と大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は１名以上とし、３年生でもよい。
※ＤＪ部門のみ３年生の参加も可とする。

６．部門・参加本数・参加費用

【アンデパンダン大会】

	ア ナ	朗 読	放送劇	映 像	生ＤＪ
参加本数	６人	５人	１本	１本	１本
参加費用	１作品／１本毎　３００円				０円

７．表彰

アナウンス・朗読：各会場１～６位
放送劇・映像　　：各会場１～４位

８．審査

①参加校各１名以上の生徒が審査にあたる。
②審査員は次の注意を守ること。
☆ 部長（委員長）もしくはそれに準じる者であること。
☆ 大会当日中の交代は不可。
☆ １０月２０日(土)の審査員説明会に出席すること。
☆ ３年生も可

９．審査基準、方法

①高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
④詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。
最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。

１０．参加申込および審査員説明会

①期日：２００７年１０月２０日(土)
②会場：神奈川県立横浜平沼高等学校
③時間：参加申込　　　１４：００～１４：３０
審査員説明会　１４：３０～１６：３０
④来場者：参加申込に１名
審査員説明会に１名以上（審査員本人）　　計２名以上
⑤提出物：□申込用紙・領収書（要 校長印・顧問印）
□出場カード　および　電子データのＦＤ
□審査部門希望カード（アンデパンダン大会出場校）
□参加費（アンデパンダン大会出場校）

注１）郵送・ＦＡＸなどによる参加申込は一切受け付けない。
注２）審査員説明会への出席者は審査員本人であること。
正当な理由により出席できない場合は、必ず代理の者が当日出席すること。
注３）提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、
顧問の確認を受けること。

１１．大会当日の受付（上履き必要）

①受　　付　９：００～９：３０
受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、封筒・スクリプト(２部)・ＭＤ・miniーＤＶテープに記入する。番組部門は著作権処理受付で、支払い等を必ずする。
②封筒提出　９：２０～１０：００（時間厳守）
提出が遅れると順位算定の算出外となります
記入を終えた作品封筒を、各審査会場に各自持参し、審査補助係に提出する。

１２．アンデパンダン大会諸規定

Ａ　アナウンス部門諸規定

① 内容：自校のニュースや解説など、高校生活中から生まれた若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。
② 自校の校内放送に使用する内容でなければならない
③ 時間：１分１０秒～１分３０秒。
番号、氏名を含む。
④ 計時：最初の声から最後の声までとする。
但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

B　朗読部門諸規定

①内容：次の５作品から１編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。
　　　　作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。

1)「 檸檬（れもん） 」　梶井基次郎 著　（新潮文庫）
2)「 春の数えかた 」　日高敏隆 著　（新潮文庫）
3)「 しゃべれども しゃべれども 」　佐藤多佳子 著　（新潮文庫）
4)「 クリスマス・カロル 」　ディケンズ（村岡花子訳）著（新潮文庫）
5)「 源氏物語 第一帖「桐壷」の巻 」　紫式部 著
（　）内の出版社に限る。　５）は古文体のもの、出版社は問わない。

②時間：１分３０秒～２分００秒。
　　　　番号、氏名、作者名、作品名を含む。
③計時：最初の声から最後の声までとする。
　　　　但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

C　番組制作部門諸規定

①種類と時間：
放　送　劇　：１５分００秒以内
映　　　像　：　８分００秒以内
生　Ｄ　Ｊ　：　９分２０秒～１０分００秒
②内容：
生徒自らの創作に限る。
映像部門の本年度のテーマはありません。自由に制作してください。
③制作者：
３年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に
学年・氏名・係（役）を明記すること。
④使用メディア：

・放送劇部門
ｱ)**<u>ＭＤ標準モード</u>**を使用すること。
ｲ)再生エラーがあるので、完成後，複数の機械で再生してテストすること。
ＭＤは1作品をひとつのファイルでまとめ、簡単に作品時間がわかるようにする。
編集を数回行うとマージできなくなることがある．その場合は他のMDにダビングして再編集する。
再生はＭＤ先頭の1曲目のみを再生する。
計測は、1曲目の時間を計測する。

・映像部門
ｱ)<u>MiniDVテープ</u>を使用すること。テープ速度は<u>ＳＰモード</u>とする。

・生ＤＪ部門
ｱ）音源はＣＤのみとする。（音源を複製したＣＤ－Ｒの使用は認めない）
ｲ）ただし、効果音など、自作の音源については、**<u>MD(標準モード)</u>**での使用を認める。
※　注意）オリジナル曲以外の音楽を演奏したものを録音し、音源として使用した場合、
その楽曲の楽譜を所有していること。

⑤録音・再生：
・放送劇部門
ｱ)左右両チャンネルに同じ音を録音する。
ｲ)作品前後の無音部分は切り詰め、作品時間がわかるようにする。
ｳ)審査は、モノラル、で再生して行なう。
ｴ)録音は最後に「制作は○○高等学校放送部(委員会）でした」という
クレジットコールを入れる。

・映像部門
ｱ)番組の最初と終りには、テストパターンを１５秒間入れること。テストパターンについては、第５４回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストの様式を参考にすること。各校自作のテストパターン(静止画）の使用も可とする。
ｲ)再生モードはＳＰモードのみとする。

⑥計時：
・放送劇部門
ｱ)計時は、第１音目から計時を行う。
ｲ)クレジットコール終了とともに再生を終える。
その後にどんな音が入っていても審査の対象とはならない。

・映像部門
ｱ) 計時は最初のテストパターンが終了した地点から開始する。
計時終了は次のテストパターンが出た時点とする。

⑦ラベル：
ｱ)ＭＤケースやMiniＤＶケースに別紙16の「作品票」を貼ること。
ｲ)ＭＤやMiniＤＶ本体の表面には、部門名・会場名(当日わかる）・学校名(略称可）を明記した紙を貼ること。

⑧著作権処理について： ｜１８　著作権処理について｜をよく読んで、適切に処理すること。

１３．生ＤＪ番組部門諸規定

①種類と時間
生ＤＪ　：１０分００秒以内(セッティング時間を含む)

②内容：生徒自らの創作に限る。
最低、異なる３曲以上の楽曲を使用すること。

③制作者・出場者：
４名までの出場を認める。３年生の参加も可とする。
ただし、当日アナウンス・朗読部門に出場する生徒は出場できない。

④計時：生ＤＪ　審査補助係のコールに続く審査員のキューにより計時をスタートさせ、
出場校はセッティングを開始し、そのまま番組を始める。
最後のクレジットコール(例：「担当は・・・高校放送部でした」）
終了時に計時をストップする。

⑤規格：
ⅰ　音源：　ＣＤのみ　ステレオ再生
(複製音源(ＣＤ－Ｒなど）使用不可）
ⅱ　使用機材：ＣＤデッキ３台・ＭＤ１台(自作の効果音のみに使用可能。複製音源の使用は認めない）・マイク２本・ミキサー１台

⑥リハーサル：
別室において同じ機材を用いて１０分以内で行うことができる。

１４．スクリプトに関する規定

①ＮＨＫ大会で使用した原稿用紙を使用する。
②<u>作品１本（１人）についてアナウンス・朗読は２部、番組は１部提出する</u>。
③第５４回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストの様式規定に従って作成する。
　☆アナウンス・朗読→様式１　☆番組→様式２
④スクリプトとＭＤ、及びＪＡＳＲＡＣ申請用紙指定枚数を角２または角３の封筒に入れ、
　封筒の表にはスクリプトの表紙と同様の記載をする。
⑤スクリプト表紙（及び封筒表書）の見本

＜アナウンス、朗読＞

朗読部門　［Ａ］会場　［13］番
学校名　県立◎△高等学校
氏名　宮田輝
作者名　夏目漱石
作品名　こころ

＜番組＞

映像部門　［Ｂ］会場　［22］番
学校名　県立神奈川高等学校
タイトル　ああ青春
再生時間　９分40秒
制作代表者　神奈川次郎

注意１　アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。
注意２　［　　］のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

１５．その他

上記以外の規定については、第５４回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

１６．諸注意

①　会場校は、<u>**上履が必要**</u>なので必ず持参すること。
②　閉会式終了後、スクリプト・ＭＤ等を返却するので必ず受け取ること。
③　大会当日の運営に関することは、すべて部長等、部の責任者を通して本部に申し出ること。
④　ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。